### こども宅食を応援しよう!

### ふるさと納税で 応援する



事業の持続的な運営のために、「ふるさと納税」でご寄付をお願いしています。返礼品競争が過熱していますが、こども宅食では返礼品を用意していません。皆さんへのお返しは親子の笑顔です。ぜひ寄付で応援してください。



### 食品や物品、 機会の寄付で参加する



まとまった量の食品や物品、体験(演奏会など)のご寄付をいただける法人さまを募集しています。特にお米や加工食品、調味料のご寄付が不足しています。できるだけ、約600世帯にお送りできる量のご寄付をいただけるとありがたいです。「どのような形で親子を支えられるだろうか?」そんな風に思っていただいた方は、ぜひ、私たちにご相談ください。



### こども宅食を 運営したい



こども宅食は文京区でモデルをつくり、全国に広げることを目指しています。今では、全国各地から視察の依頼や事業の相談を受けるようになりました。こども宅食の運営に興味がある方は、こちらまでご連絡ください。



### アキ宝金

### https://kodomo-takushoku.jp

[こども宅食コンソーシアム]

こども宅食は文京区とNPO法人フローレンス、一般社団法人RCF、NPO法人キッズドア、NPO法人日本ファンドレイジング協会、一般財団法人村上財団、セイノーホールディングス株式会社が運営しています。 お問い合わせはこちらから:info@kodomo-takushoku.jp



### 親子の"つらい"を見逃さず、命をつなぎたい

### こども宅食が向き合う課題

### 経済的に厳しいご家庭とつながるのは難しく、 支援が届きにくい状況があります



「経済的に困っているのを、まわりに知られたくない」 「行政の窓口にいく時間がない!



「本当に支援が必要なご家庭か、ぱっと見ではわからない」 「相談されない限り、困っているご家庭と接点が持てない」



気づかれないうちに地域から孤立してしまうことで、相談できずに、 虐待、養育不全、ネグレクト、育児うつなど、様々な困難な状況に陥ってしまう可能性がある



この課題を解決するためには、ご家庭を継続的に見守り、早い段階で困りごとに気づくことが必要です。また、ご家庭の困りごとやニーズに応じて、適切なサポートにつなぐことも欠かせません。 困っていることを知られたくない人には、見えない支援が必要です。

### こども宅食の活動

### 定期的な食品の配送を通じて、 ご家庭を見守ります。

こども宅食では、2ヶ月に1度、ご家庭に食品を届けています。(2019年度は夏休み時期の配送回数を増やし、年7回の配送を行います。)食品の配送を定期的に行う中で、ご家庭の困りごとやニーズをすくいあげ、困難な状況になる前に、必要なサポートにつないでいくことを目的としています。



### こども宅食の特徴

### 寺徴 1

### 利用申込はLINEで完結。24時間いつでも、どこからでも

「人目が気になる」「平日に仕事が休めない」などの理由で、自治体の窓口に行くことができないご家庭もあります。こども宅食では、LINEで24時間いつでも、どこからでも利用申込ができます。また、電話、申請書類の郵送、窓口での申請も可能なので、ご家庭に合った方法を選ぶことができます。

### 利用家庭



### \*微 2 食品はご自宅に届けるから、周囲の目を気にせずに利用できる。

食品は配送会社がご自宅に直接お届けするので、近所の目を気にせずに、食品を受け取ることができます。利用家庭にアンケート調査を実施したところ、「周囲の人からわからない形で支援されたい」というニーズが強く見られたため、引き続き周囲から見えない形でのサポートを続けていきます。

### 特徴 3

### お米やパスタなどの主食、調味料やお菓子が定期的に届く

お米やパスタなどの主食、野菜と混ぜるだけで簡単におかずが作れる合わせ調味料、しょうゆやマヨネーズなどの調味料、飲料、お菓子、日用品など、様々な食品や物品をお届けしています。最近ではコンサートなどの体験提供も行っています。

### 寺徴 1

### 経済的に厳しいご家庭に、ダイレクトに利用案内できる

ご家庭の経済的な状況を把握しているのは自治体です。こども宅食では、文京区が運営に参加することにより、経済的支援として児童扶養手当や就学援助を利用するご家庭すべてに、利用案内のチラシを送ることができています。2019年度からは、生活保護を利用する世帯にもチラシを送っています。

### 運営チーム



### 特徴 2 定期的に接点を持つことで、ご家庭の変化に気づける

こども宅食では、ご家庭の変化や困りごとに気づけるよう、定期的に食品を届けて、ご家庭と接点を持ち続けています。また、LINEを通じて、ご家庭が気軽に連絡を取れるようにしています。その中で、ご家庭の変化にいち早く気づくことができます。

### 特徴 3

### 必要なサポートとつなぐから、困難な状況に陥るのを防げる

こども宅食は、食品の配送だけが目的ではありません。食品の配送やLINEなどで、ご家庭の困りごとやニーズがわかった場合には、それぞれのご家庭に合ったサポートにつなぐことで、状況の悪化を防ぐことを大切にしています。

### こども宅食が実現したこと

こども宅食は、2017年10月から、文京区で食品のお届けを開始しました。

1年半事業を運営する中で、利用世帯数を4倍に拡大。また、リスクが高い状況のご家庭を支援につないだこともあり、より困難な状況に陥る前に予防することができました。



## 配送食品量 [総量] 2017年 約4t 約2t

### お届けした食品の一例



お米やスープ、調味料、飲料、お菓子など幅広くお届けしています。パスタ麺とパスタソースのセットや、野菜を混ぜるだけで簡単におかずを作ることができる合わせ調味料をお届けし、調理のご負担を減らせる工夫もしています。ご家庭に喜んでいただけるように、クリスマスなどのイベントや季節に合わせて配送内容を考えることもあります。時には食品に加えて、日用品のお届けも行っています。

### 利用家庭からの声

今回も食品がいっぱい袋に入っていたので、子どもが大喜びしていました!早速、お米もいただきましたが、とても美味しかったです。毎回、子どもと「今日は何が届くかな~」と言いながら、楽しみにしています。

やっと仕事が決まったものの、手取り10 万円弱。どうしようかと困っていました。仕 事から帰宅後には、食事を作る気力がわ かないこともあります。レトルト食品をい ただいて、本当に助かりました。食品はす べて嬉しいですが、お米やパスタなどの 主食は特に嬉しいです。 助けてくれる人がおらず、たった一人で子どもたちを育てています。簡単に崖っぷちになるのが、シングルマザーの現状だと痛感しています。孤独に子育てと仕事をするのは大変です。こども宅食がなくなると本当に困ります。是非これからも続けてほしいです。

配送してくれた方が「何かお困りのことはありませんか?」と聞いてくださり、気にかけてくれている人がいるかと思うと、嬉しい気持ちになりました。食べ物ももちろん嬉しかったのですが、ひとり親家庭を応援したいという温かい心が何よりも嬉しいです。

### 利用家庭への支援状況

リスクが高い状況のご家庭は7家庭ありました。 その中には専門的な支援につないだご家庭もありました。



4

### 利用家庭の変化

こども宅食では「社会的インパクト・マネジメント」を導入し、事業が生み出す 社会的価値の可視化や検証、評価結果をもとに事業活動の改善や運営力の強化を目指しています。 その一環で、ご家庭にアンケート調査を行いました。その一部を紹介します。

### 社会的インパクト・マネジメントとは

「社会的インパクト」とは、短期・長期の変化を含め、

事業や活動の結果として生じた社会的・環境的な成果のこと。

「社会的インパクト・マネジメント」とは、

事業運営により得られた事業の社会的な効果や

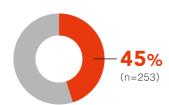
価値に関する情報にもとづいた事業改善や意思決定を行うことを指す。

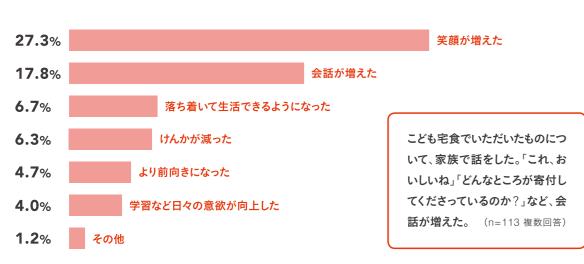


回答者の85%に「気持ちが豊かになる」「社会とのつながりを 感じられるようになった」など、前向きな変化がありました。

### 子どもたちにも、ポジティブな変化が見られました。

こども宅食の利用前と比較して、 お子さんの態度に変化はありましたか。





### 寄付で 応援してくれた人の声

こども宅食の運営資金は、ふるさと納税でまかなっています。 返礼品は用意せず、すべて事業運営のために使っています。

ふるさと納税の本来のあり方に立ち返り、返礼品競争に一石を投じる取り組みとなっています。



さまざまな想いで応援してくれている人がいます。その一部をご紹介します。

素晴らしい取り組みだと思います。人目が気になることへの配慮は、これまでの支援にはない画期的な取り組みだと感じました。子どもと、子どもを育てる親御さんの役に立ちたい。そんな思いで寄付しました。応援しています。まずは文京区から苦しむ親子が減り、将来的には取り組みが全国に広がることを期待します。

文京区だからこそ生まれた見えづらい問題に着眼した施策を高く評価しています。「自分を見てくれている人がいる」ということは、子どもたちの未来にきっと大切な影響を与えてくれると思います。ひとりでも多くの子どもたちが希望を持って、明日に向かえますように・・・全国にこども宅食が広がることを期待しています。

普段忙しく生活している我々にとって、日本の子どもたちがこんなにも厳しい状況に置かれていることを知る機会がほとんどありません。まずはこの状況を一人でも多くの国民が知ることが重要だと思います。国の宝である子どもたちの可能性を広げる助けに少しでもなればと、プロジェクトに参加しました。

### 企業や個人がそれぞれの形で、こども宅食に参加しています

こども宅食で寄付する食品の多くが、企業や団体からのご寄付です。 最近では、食品だけでなく、物品の寄付や体験の提供など、さまざまな関わり方が増えています。

# 寄付企業、団体数 2017年 19社 45社



トランローグ有限会社には、ご家庭にお届するお米をつくるワークショップへの参加機会を提供いただきました。



日本フィルハーモニー交響楽団からは、希望するすべてのご家庭をコンサートにご招待いただきました



株式会社セールスフォース・ドットコムでは、こども宅 食のボランティアブースをご用意いただきました。



株式会社エム・シー・フーズには、食品の小分け作業 を文京区の障害者福祉施設(就労継続支援B型) に委託いただきました。寄付を通じて、障害がある方 の就労支援を行うことができました。



農業生産法人株式会社カトウファーム加藤晃司さま、加藤絵美さま

私たちも親の一人として、主食である「お米」が生活をつなぐ中で本当に大切だと思っています。実は、寄付するにあたって、迷いもあったんです。福島のお米が受け入れてもらえるかなって。それに、私たちも子育てと農業の両立に精一杯で、決して余裕があるわけではありません。それでも、「一人でも喜んでくれる人がいるのであれば、力になりたい!」と思って、寄付することに決めました。



株式会社 L&Sコーポレーション 城戸崎信浩さま

今回が初めてのCSRということもあり、「信頼できる団体なのか?」ということが、私たちの一番のハードルでした。NPOのことはよく知らず、「ここで大丈夫かな?」と。こども宅食は、自治体が参加しているのも、大きな決め手でした。実際にNPOと関わってみて、食品にはたくさんの人の思いが詰まっていることに気づきました。こども宅食はたくさんの企業が"ちょこっとずつ"貢献をされていたので、参加しやすかったです。

### パートナー企業・団体一覧 | 応援いただいた企業・団体は延べ45社にのぼります。







































LAWSON

### つながって、支え合いながら、みらいをつなぎます

### 2018年度のご報告

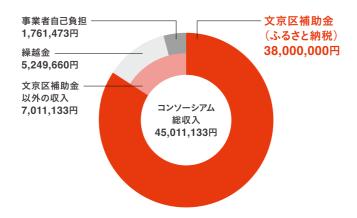
### ふるさと納税の状況

- ○ふるさと納税サイトの「ふるさとチョイス」で、3,800万円を目標に ご寄付を募りました。「返礼品なし」にて皆様にご支援を募った結果、 目標を上回る5,187万3,625円ものご寄付を頂きました。
- ○目標を上回った分のご寄付については、文京区が「子ども宅食プ ロジェクト基金」において管理しています(詳細は文京区ホームペー ジをご覧ください)。

### 収入の状況

- ○寄付額5,187万3,625円のうち、文京区の当初予算で計上した 補助金3,800万円がコンソーシアムの収入となりました。
- ○2018年度の収入は、補助金に加え、前年度の繰越金(村上財 団)が含まれています。

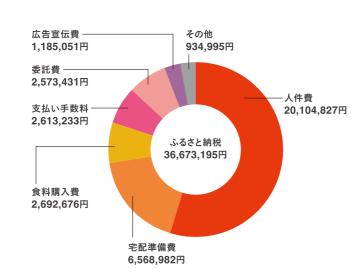
### ふるさと納税 51.873.625円 2018年度寄付額 目標額 38.000.000円 基金積立



### ご寄付(ふるさと納税)のつかいみち

項目	予算額	決算額	差引
人件費	20,300,000	20,104,827	195,173
食料購入費	2,800,000	2,692,676	107,324
支払い手数料	3,000,000	2,613,233	386,767
広告宣伝費	1,200,000	1,185,051	14,949
公式HP等制作費	200,000	44,887	155,113
通信費	200,000	77,543	122,457
委託費	2,580,000	2,573,431	6,569
宅配準備費	6,600,000	6,568,982	31,018
事務費	900,000	752,445	147,555
印刷費	100,000	58,190	41,810
保険料	10,000	1,930	8,070
予備費	110,000	0	110,000
合 計	38,000,000	36,673,195	1,326,805

- ○配送世帯数が150世帯から570世帯へと増加したことにより、人件費 と食料購入費、宅配準備費が増加しています。
- ◎お届けしている食品の多くは、企業や団体からのご寄付によるもので す。食品購入費として計上した費用は、ご寄付いただいた食品のバラン スを見て、一部追加購入するために使用しています。
- ○支払手数料には、ふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」の利用手数 料等が含まれます。
- ◎委託費には、ソーシャルワークや、社会的インパクト評価におけるデー タ分析についてのアドバイザー費用、弁護士顧問料等が含まれています。
- ◎差引額1.326.805円は、文京区に返金しています。返金分は次年度 予算にあてています。



更に詳しい会計報告についてはこども宅食の公式ホームページでご覧いただけます。

### こども宅食の運営団体

### ふるさと納税受付・申込案内

ふるさと納税を活用し、こども宅食の運営資金を 受け付けています。また、ひとり親家庭に対する児 童扶養手当や、小中学生の学用品・給食費などの 就学援助を利用する方に、申込案内をお送りしま す。2019年からは、生活保護を利用している方に も、申込案内をお送りしています。



### 物流管理

日本で先駆けて子どもの貧困に取り組んだ団体 です。主に家庭の経済的な理由により塾に通えな い中学・高校牛向けの学習支援を実施。仙台フー ドバンク事業を実施しています。



### 食料配送

食品を届けるのは「カンガルーのセイノー!」が キャッチフレーズの運送会社、セイノーホールディ ングスから誕生したココネット。単なる配送のみ ならず、「買い物代行」や、「見守り」サービスを展 開し、買い物弱者などの社会的課題の解決を目 指しています。



### 全体企画/広報·寄付調達

子育て・子どもの貧困等の課題に対し、「訪問型 病児保育」「障害児保育」「特別養子縁組」などの 事業を展開しています。「孤食」等の悩みがある子 どもの居場所づくりとして、月島で「わんがんこど も食堂」を運営しました。

### **Florence**

### 社会的インパクト・マネジメント

寄付・社会的投資が進む社会を目指して、ファン ドレイザーの育成や、寄付白書の発行、社会貢献 教育などを実施しています。NPO等の生み出す 社会的インパクトの可視化と事業改善を目的とし た社会的インパクト評価・マネジメントの推進を 行う「社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ (SIMI)」に共同事務局として参加しています。



### 企業との連携

東日本大震災を機に設立し、セクターを越えた 復興事業の立案、官民関係者間の諸調整を担う 「社会事業コーディネーター」集団です。東北の 水産業・農業復興支援にてキリン株式会社等と 連携しています。



### ファンドレイジング

日本の社会的課題解決のために活動する非営利 団体への使途指定寄付や助成を通じ、団体と共 に議論を重ねます。そして、必要とする方々や事象 に対して、より多くの支援が継続的に届くような きっかけとなる支援をしています。



### アドバイザー



赤石 千衣子

NPO法人しんぐるまざあず・ ふぉーらむ理事長



井出 留美

株式会社office3.11 代表取締役



大西 健丞

NPO法人ピースウィンズ・ ジャパン代表理事



NPO法人自立生活サポー トセンター・もやい理事長





阿部彩 首都大学東京教授

### メディア掲載情報

TBSテレビ / NHK放送 / 日経新聞/週刊東洋経済 / 産経新聞 / 朝日新聞 / 時事通信社 / 毎日新聞 / 東京新聞 / BuzzFeed Japan / Forbes Japan / BSジャパン / BUSINESS INSIDER JAPAN / ラジオ日本 など